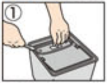
便利なローラートレイ付広口容器(特許第4386785号)の使い方

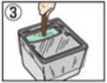
この容器はローラーバケが直接入り、天面のトレイ部分で塗料をしごくことができる画期的な容器です。下記の使用方法にしたがってご使用下さい。使用するローラーバケはミドルローラーやスリムローラーが適しています。

使用方法 ●使用前に容器を前後によく振り、中の塗料を均一にします。(フタが開くおそれがありますので、注意して下さい)

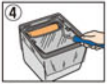


① フタが容器の中に落ちないよう、フタについているつまみを持ちながら、フタの矢印のところと容器の角の間に、マイナスドライバーを差し込んでフタを開けます。フタの裏や容器の口の端に、半乾きの塗料がついていることがありますので、濡らしたウエスでふき取り、フタは保管しておきます。

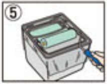
② 右のようにラップでおおっておくと、洗う手間が無くなり後始末が簡単です。



③ 棒などで容器の底までよくかき混ぜ、塗料を均一にします。



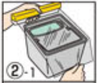
④ ローラーバケを容器の中に入れローラー部分に塗料をつけます。



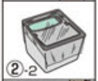
⑤ 天面のトレイ部分でローラーを転がし、塗料をまんべんなくなじませて塗装します。

⑥ 塗装終了後は、トレイ部分や容器の口の周囲に付着した塗料をウエスなどでふき取り、軽くフタをした後、両手親指でフタの両端を強く押してフタを閉めます。
②のようにあらかじめラップをしておくと、ラップを捨てるだけでほとんど汚れずに後始末が簡単です。

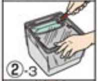
容器をラップでおおう方法



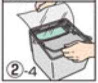
②-1
サゲ手はトレイ部の方へ倒した状態で、ラップを容器の天面より大きめにカットし、缶の天面全体をおおいます。
(ポリ塩化ビニリデンのラップをお使い下さい)



②-2
ラップを容器の天面にフィットするように軽く押さえ密着させ、余ったラップを缶胴に巻きつけます。



②-3
容器の口の部分のラップにカッターナイフなどで切り込みをいれ、ローラーバケが入るようにします。カットしたラップは容器の口の内側へ巻き込みます。



②-4
サゲ手を持って場所を移動する時は、トレイ部のラップを容器の口の方へめくりあげてサゲ手を持って下さい。再度、塗装する時はサゲ手をトレイ部に倒しラップも元に戻して下さい。
中の塗料が半分以下になった場合、ローラーハンドルを入れたまま持ち運びすると、傾いた(約30°)不安定な状態になりますので、両手で支えて下さい。

使用上の注意

1. 塗装下地に腐敗菌、カビ菌がついている場合があり、その菌が容器内の塗料に混ざり込むと保存中に塗料が腐敗することがあります。早めに塗料を使い切って下さい。
2. 落下によりフタが開いたり、容器が変形することがありますので、容器の取扱いに注意して下さい。

アサヒペン

無臭

水性塗料

●この容器は、大きさをそろえるため、多少大きめにつくってあります。中身の塗料は所定の量目はいっています。

●表示してある色、ツヤおよび容器の中の塗料の色は、乾いてからの塗料の色と、多少異なることがあります。

●浴室に使ったときは換気をよくして、一日以上乾かしてから使用して下さい。結露が激しい場合はさらによく乾かして下さい。

インテリアカラー

浴室カベ用

シックハウス対応
環境保護塗料

低VOC塗料
揮発性有機化合物
0.1％以下

（社）日本塗料工業会登録	
登録番号	A02140
ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.toryo.or.jp

建築基準法で定められたホルムアルデヒドの放散量が最も少ない区分で、居室内に無制限に塗装できます。

無鉛塗料
鉛・クロム化合物は使用していません。

- 強力防カビ
- 耐水・防汚機能
- カベ紙にも塗れる
- ホルムアルデヒド吸着・除去

1回塗り
ツヤ消し

標準塗り面積（1回塗り）
36～43㎡ （タタミ22～27枚分）
せんい壁など吸い込みの多い面
14～29㎡ （タタミ8～18枚分）

乾燥時間
夏期／30分～1時間 冬期／　2～3時間

塗り重ね時間の目安
夏期／2時間以上 冬期／6時間以上

塗りにくいときは
水
（5％以内）
でうすめて下さい

5L

注意書きをよく読んでから使用してください。

アサヒペン

●この容器は、水を加えてかきまぜられるよう、多少大きめにつくって有ります。中身の塗料は正確な量目はいっています。

●表示してある色、ツヤおよび容器の中の塗料の色は、乾いてからの塗料の色と、多少異なることがあります。

●浴室に塗ったときは換気をよくして、1日以上乾かしてから使用して下さい。気温が低い場合はさらによく乾かして下さい。

無臭

水性塗料

インテリアカラー

浴室カベ用

1回塗り
ツヤ消し

標準塗り面積（1回塗り）
36〜43m²（タタミ22〜27枚分）
せんい壁など吸い込みの多い面
14〜29m²（タタミ8〜18枚分）

乾燥時間
夏期／30分〜1時間 冬期／　2〜3時間

塗り重ね時間の目安
夏期／2時間以上 冬期／6時間以上

塗りにくいときは
水
（5%以内）
でうすめて下さい

注意書きをよく読んでから使用してください。

シックハウス対応
環境保護塗料

低VOC塗料
揮発性有機化合物
0.1%以下

（社）日本塗料工業会登録

登録番号	A02140
ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.toryo.or.jp

建築基準法で定められたホルムアルデヒドの放散量が最も少ない区分で、居室内に無制限に塗装できます。

無鉛塗料
鉛・クロム化合物は使用していません。

- 強力防カビ
- 耐水・防汚機能
- カベ紙にも塗れる
- ホルムアルデヒド吸着・除去

5L

商品名 NEW水性インテリアカラー浴室カベ用

品　名 合成樹脂塗料（水系）

成　分 合成樹脂（アクリル）、顔料、防カビ剤、水

特　長

●防カビ性を増強。浴室やキッチンの壁や天井に最適です。●手あか・マジック・クレヨンなどの汚れが落とせます。●カベ紙・ビニールカベ紙の上にも塗ることができます。●塗料に含まれるVOC（揮発性有機化合物）は0.1%以下であり、シックハウスの原因とされるホルムアルデヒドを吸着・除去する環境保護塗料です。●いやな臭いのしない無臭タイプで、1回塗りで仕上がります。

用　途

●浴室、キッチン、洗面所、トイレなどの壁や天井 ●リビング、寝室、子供部屋などの室内壁や天井（カベ紙・ビニールカベ紙）、窓枠などの木部 ●和室壁や天井（しっくい・京壁・土壁・砂壁・せんい壁・コンクリート・モルタル）

適さないところ： 布カベ紙・オレフィン系カベ紙・ユニットバス・浴槽・絶えず水がかかったり、水につかるところ・いつも湿っているところ・床面。カウンター・机・椅子などの家具。

塗装方法

①● はがれかかった古い塗膜やサビは、皮スキ・ワイヤーブラシ・サンドペーパーなどを使用して充分に取り除きます。
　● 塗る面のゴミや汚れを取り、カビはカビトリ剤で、油分はペイントうすめ液で拭いてよく落とします。
　● 壁にあいた穴などは、あらかじめパテなどで補修しておきます。
②● 塗料がついては困るところは、あらかじめマスキングテープなどでおおいます。
③● フクレ・ハガレ防止のため右の下地処理の注意にしたがって下地処理をします。
④● 右面の「便利なローラートレイ付広口容器の使い方」にしたがって塗装の準備をします。
　● 塗料の粘度が高く塗りにくいときは、水で少し（5%以内）うすめます。
⑤● コーナーや塗りにくいところは先にすじかいバケで塗ります。広い面積の部分はローラーバケ・コテバケ・平バケなどを使うと、速く、楽に塗ることができます。
　● マスキングテープは、塗料が手につかなくなったらはがします。
⑥● 塗装後1日以上、充分に乾燥させます。不充分な場合、水がかかったり、結露によって塗膜が流れたり、ハガレやシミの原因になることがあります。
※ 表記の乾燥時間は、半硬化（指で軽くこすって跡がつかない状態）の時間です。

用具の手入れ方法 塗料が乾かないうちに、水か湯で洗って下さい。

汚れの落とし方

この塗料を塗った面が汚れた場合には、住宅用洗剤または台所用クリームクレンザーをナイロンタワシに充分含ませ、汚れた部分を軽くこすりながら落とします。こすり過ぎると下地が透けたり跡が残ることがありますので注意して下さい。

保管上の注意

① 幼児の手が届かないところに保存し、子供が誤飲・誤食・いたずらをしないよう注意して下さい。
② 直射日光や火気のある場所、−5℃以下になるところ、自動車内などの高温になるところ、容器がさびやすいところには置かないで下さい。
③ 残った塗料はしっかりとフタをしめて保管し、できるだけ早く使い切って下さい。

取扱い上の注意

1. 表示の用途以外に使用しないで下さい。
2. 体調が悪い時、アレルギー・化学物質に敏感な人は使用しないで下さい。
3. 目に入ったり皮膚に付着しないよう注意して取扱って下さい。付着したまま放置すると炎症を起こすことがあります。必ず保護手袋を着用して下さい。また、誤飲しないよう注意して下さい。
4. 塗装中、乾燥中とも換気をよくして下さい。
5. 塗料がついても支障がない服装で作業して下さい。
6. 塗膜を衣類や濡れ雑巾などで強くこすると、塗膜に傷がついたり色移りすることがあります。
7. 一度に厚く塗らないで下さい。ひび割れが生じることがあります。
8. 塗装は雨の降りそうな日や湿度の高い日は避け、天気のよい日に塗って下さい。
9. 成膜不良や結露により塗膜異常を生じることがありますので、塗るときおよび塗った塗料が乾くまでの間も、5℃以下（塗布面の温度）にならないような時期に塗って下さい。
10. コンクリート・モルタル・しっくいなどのアルカリ素材の上に塗ると、一時的に臭いが強くなることがあります。
11. 濃い色の上や、凹凸の大きな面に塗る場合や、うすめすぎたり、うすく塗りすぎた場合や、濃色の場合には、1回塗りで仕上がらないことがあります。
12. 塗り重ねるときは、夏期2時間以上、冬期6時間以上乾かしてから塗って下さい。特に土壁や砂壁など吸い込みが多い所では、1日以上乾かしてから上塗りして下さい。
13. あらかじめ目立たない部分で試し塗りをして、色・乾燥性・密着性などを確かめてから塗って下さい。特殊な表面処理（セロハンテープがつきにくいもの）がされたカベ紙など、下地によっては密着しないものがあります。
14. 塗り面積・乾燥時間は、色・素材・塗り方・気象条件などにより多少異なります。特にせんい壁など吸水性・保水性の大きな素材に塗った場合は大幅に異なることがあります。
15. 容器は塗料を使い切ってから捨てて下さい。
16. やむをえず塗料を捨てるときは、水性塗料用固化剤で固化するか、新聞紙などに塗り広げ、乾かしてから一般ゴミとして処分して下さい。
17. 容器を落下させると、中身が漏れることがありますので取扱いに注意して下さい。

下地処理の注意 塗膜のフクレ・ハガレ防止のため以下の処理をして下さい。

①つるつるした面は、サンドペーパーで表面を荒らしてから塗って下さい。②旧塗膜を触って粉が手につく場合や、土壁・砂壁・せんい壁などに塗るときは、アサヒペンカベ塗料用下塗り剤かアサヒペン水性シーラーで下塗りして、充分に乾燥させて下さい。③タバコのヤニやサインペンの汚れの上に塗装しますと塗膜にニジミが出てきますので、中性洗剤で充分に拭きとるか、アサヒペン水性ヤニ・アクどめシーラーを下塗りして、充分に乾燥させて下さい。④くぎの頭など鉄部に直接塗る場合は、充分にサビを落とし、サビドメ塗料を下塗りして下さい。⑤新しいコンクリートやモルタル面に塗る場合は、施工後1ヵ月以上経ってから行い、必ずアサヒペン油性シーラー、またはアサヒペン強浸透性水性シーラーを下塗りして下さい。⑥パテ補修、下塗り塗料の塗布を部分的に行った場合や塗る面の状態によっては塗料の吸い込みの差により色むらが生じることがあります。

● 水生生物に毒性

救急処置 ●目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。●誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。●蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。●皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときは、医師の診察を受けて下さい。

株式会社アサヒペン
大阪市鶴見区鶴見4-1-12
http://www.asahipen.jp
お客様相談室　☎06-6934-0300

日本製
00-1311